



つや姫
雪若丸



だより

～ 適期田植え編～

◎田植えの3大ポイント

- ① 田植え適期は「つや姫」が5月15～20日頃、「雪若丸」が5月15～25日頃です。田植えが遅れるとその後の生育の遅れにつながります。適期内に早めの移植に努めるとともに、他品種より優先して植えましょう。また、低温、強風下での移植は植え傷みが起こり、活着不良となります。天気の良い日を選んで、田植えを行いましょ。
- ② 植込本数(㎡当たり100本程度)を確保するため、栽植密度は21株/㎡(70株/坪)で1株当たり4～5本植えとします。
- ③ 植え付けの深さは3cm程度が基本です。深植えは分けつの発生が少なくなり初期生育が確保できません。極端な浅植えは除草剤の薬害を受けやすくなります。

◎水管理のポイント

- ① 活着期は地・水温を安定的に高める水管理が必要です。田植え後1週間は、低温や強風対策のため、水深4～5cm程度に保ちましょ。
- ② 活着後は2～3cm程度の浅水管理とし、分けつを促します。昼の水温を高めるため、昼間は止水し、入水は朝・夕に行いましょ。
- ③ 分けつ初期に湛水状態で気温の高い日が続くと土壤還元が進み、根の生育に有害なワキが発生します。気温が高い日が続いたら水交換を行い、ワキの発生を予防しましょ。「ワキ」が発生した場合には、2～3日の田干しを行い、根圏環境の改善に努めましょ。

重要!

「雪若丸」は初期生育が収量に大きく影響します。こまめな水管理で分けつの発生を促し、6月中の有効茎(目標穂数560本/㎡)確保を目指しましょ。

6月10日まで春期農作業事故防止安全運動強化月間です

春は農作業事故が起きやすい時期です。天候や体調を考慮して無理のない作業をしましょ。